

グローバルコミュニケーション学科 全員留学プログラム 4年間の学び

本留学プログラムは、グローバルコミュニケーション学科のカリキュラムの一部として位置付けられており、卒業の要件となっています。



4年間を通して身につける力

- ◆ 学びの基礎 (自己理解・他者理解、ラーニングスキル)
- ◆ 留学に備えた英語運用力
- ◆ 異文化理解力

授業科目の構成

- ・武蔵野BASIS ・基礎ゼミ
- ・異文化コミュニケーションA・B
- ・英語演習科目
- ・中国語演習科目
- (・日本語演習科目)

目標設定・成長の可視化

- <異文化コミュニケーションAの授業>
- ・留学の目標設定・行動計画
- ・留学先の地域・文化の理解、チームビルディング
- ・危機管理意識の醸成

- ◆ 実践的な英語コミュニケーション力
- ◆ アカデミック英語 (EAP)
- ◆ 多文化共生力の深化

・EAP Program (ELS)
…16単位以上必須
(最大20単位修得可能)

行動計画の
実施と分析(内省)

- ◆ 総合的な言語運用力
- ◆ グローバル・イシューに関する課題発見・解決力
- ◆ 専門の学びへのステップアップ

- ・プレゼミ ・グローバルスタディーズ
- ・英語演習科目
- ・中国語演習科目
- (・日本語演習科目)
- ・言語文化科目 (文化/文学/コミュニケーション/言語学)

※学部留学コース

- ・留学経験のフィードバック (自己の成長分析・ポートフォリオ化)
- 【GPS、DODAキャンパス】

- ◆ 高度な言語運用力に基づく専門性
- ◆ 多文化理解に基づく創造的思考力

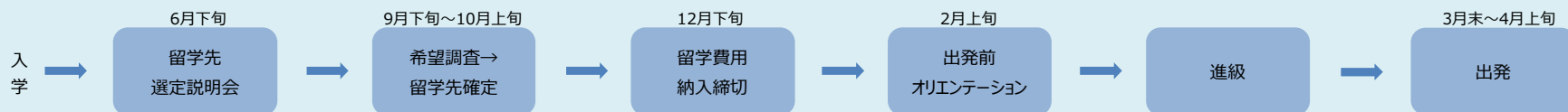
- ・ゼミ or 課題研究演習
- ・英語演習科目
- ・中国語演習科目
- ・言語文化科目 (文化/文学/コミュニケーション/言語学)
- ・英語翻訳、英語通訳
- ・中国語翻訳、中国語通訳
- ・卒業論文

◎成果の可視化：検証ツール

成長指標	GPS	GPS
英語運用力	GTEC/TOEIC	GTEC/TOEIC
ポートフォリオ	dodaキャンパス	

- ① GPS(Global Proficiency Skills Program)：問題解決に必要な3つの思考力（批判的思考力・創造的思考力・協同的思考力）をテストと自己評価の両面で測定します。
- ② GTEC(Global Test of English Communication)：英語コミュニケーション能力の4技能(Reading・Listening・Writing・Speaking)を測定します。留学の前後で実施することで留学の成果を確認できます。
- ③ dodaキャンパス：ポートフォリオ機能を活用して4年間の学びを可視化していきます。学びの成果を可視化することが自身のキャリア形成につながります。

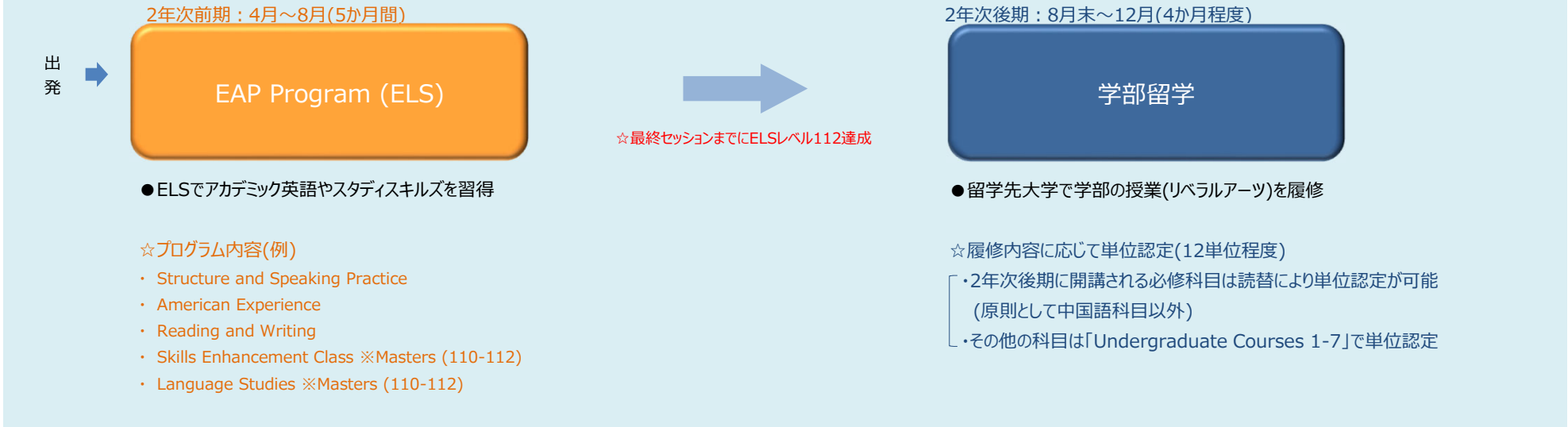
◎1年次 出発までのスケジュール



*スケジュールは変更する場合があります。

全員留学プログラム / 学部留学コース

◎ 留学中の学び



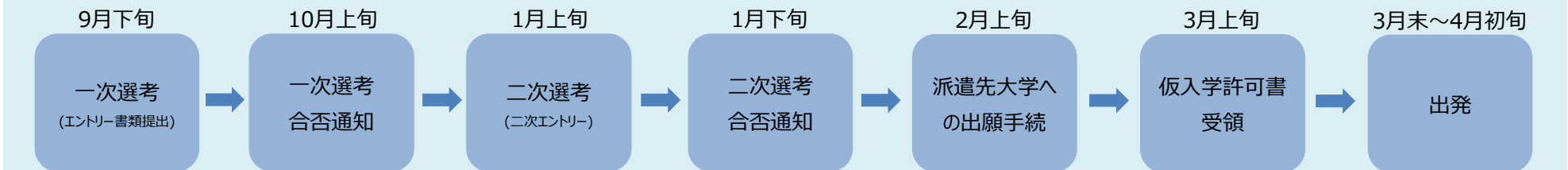
* ELSで112レベルを達成できなかった場合、学部留学には進めなくなります。

■ 学部留学コースについて

学部留学コースとして、選考に合格して所定の条件を満たす場合、全員留学プログラム(ELS)を修了後、2年次後期にELSが付設された大学で学部の授業を履修することが可能です。学部留学コースの対象となるのは、本学が協定を締結した大学とその付設のELSに限ります。

学部留学に進むためには、最終セッションまでにELSL112レベルに合格する必要があるため、そのためには最低でもレベル108から開始する必要があります。

◎ 学部留学コースのながれ



*スケジュールは変更する場合があります。

※学部留学コースの選考スケジュールや条件等は別途案内予定

グローバルコミュニケーション学科 全員留学プログラムの単位と成績

1. 単位認定科目表

ELS			武蔵野大学	
カテゴリー	レベル	授業時間	認定科目	単位数
Beginner	101	1セッション =100時間	EAP Beginner 1	4
	102		EAP Beginner 2	4
	103		EAP Beginner 3	4
Intermediate	104		EAP Intermediate 1	4
	105		EAP Intermediate 2	4
	106		EAP Intermediate 3	4
Advanced	107		EAP Advanced 1	4
	108		EAP Advanced 2	4
	109		EAP Advanced 3	4
Masters	110		EAP Masters 1	4
	111		EAP Masters 2	4
	112		EAP Masters 3	4
	112+		EAP Masters 4	4
	112+		EAP Masters 5	4
	112+	EAP Masters 6	4	
	112+	EAP Masters 7	4	

16単位以上

2. 成績評価の換算表

ELS		武蔵野大学	
素点	成績	備考	
90-100	S	単位認定	
83-89	A		
79-82	B		
REPEAT 75-78	C		再履修のセッションは 成績の改善のみ可
70-74			
0-69	D・X		単位認定不可

◆単位認定方法

- ① ELSの受講レベルに応じて、1セッション(4週間、計100時間)につき1科目(各4単位)を認定します。
＜計5セッション＝最大20単位＞
- ② 成績は本学の評価基準に従い「S・A・B・C」の評価を付与します。 ⇒「2. 成績評価の換算表」
(D・Xに相当する場合は単位認定不可)
- ③ 学部留学コースでは、修得科目の授業時間に応じて「Undergraduate Courses 1-7」の単位を認定します。
(評価のつかない「認」による単位認定。認定の手続は別途案内します。)

◆卒業要件との関係

卒業要件として、全員留学の認定科目から**16単位以上(4セッション以上の合格)**が必要です。

◆成績評価方法

- ① ELSの各セッションの成績(素点)を本学の評価基準に換算して成績を付与します。
- ② ELSで上位のレベルに進むには、79点以上(換算B以上)での合格が必要です。
70~78の場合、成績換算によりC評価での単位認定となりますが、同じレベルでの再履修(LEVEL REPEAT)となります。この場合、再履修のセッションについては成績の改善のみ可能です(各レベルでの単位認定は1回のみ)。